

大雨による災害

◆ 避難情報発令基準について

令和8年5月下旬(予定)から、下記のとおり防災気象情報が変わります。大雨時などに出される気象情報について、あらかじめ意味を知っておきましょう。

主な変更点

- 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます
→ 避難行動と直結するレベルがすぐわかり、避難判断の目安が明確になります。
- 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります
→ 従来の「洪水警報・注意報」は廃止されます。
- 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます
→ 危険な場所から避難が必要な状況であるレベル4相当の情報が「危険警報」として発表されます。
- 線状降水帯の発表などは「気象防災速報」として発表します。

	河川氾濫	大雨	土砂災害	避難情報	とるべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報 氾濫の発生	レベル5 大雨特別警報 台風や集中豪雨により数十年に一度の大雨が予想され、重大な災害の起こるおそれ著しく大きい	レベル5 土砂災害特別警報 命の危険が及ぶ土砂災害が切迫、すでに発生している可能性	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保
警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！！					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報 まもなく氾濫危険水位を超え、さらに水位の上昇が見込まれる、または氾濫危険水位に到達	レベル4 大雨危険警報 命の危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況	レベル4 土砂災害危険警報 命の危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況	避難指示	危険な場所から 全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報 一定時間後に氾濫危険水位に到達が見込まれる	レベル3 大雨警報 大雨に関する警報	レベル3 土砂災害警報 土砂災害への警戒が必要な状況	高齢者等避難	避難に時間を要する人は早めに避難、他の人も避難の準備
警戒レベル2相当	レベル2 氾濫注意報 氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる	レベル2 大雨注意報 大雨に関する注意報	レベル2 土砂災害注意報 土砂災害への注意が必要な状況		避難行動を確認 (避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル1相当	早期注意情報				災害への心構えを高める

◆ キキクルを活用しよう

キキクルとは、大雨による災害発生の危険度の高まりを、地図上で5段階に色分けして示す情報です。

常時10分毎に更新しており、気象警報等が発表されたときに、どこで、どのような危険が高まっているかを把握する事ができます。

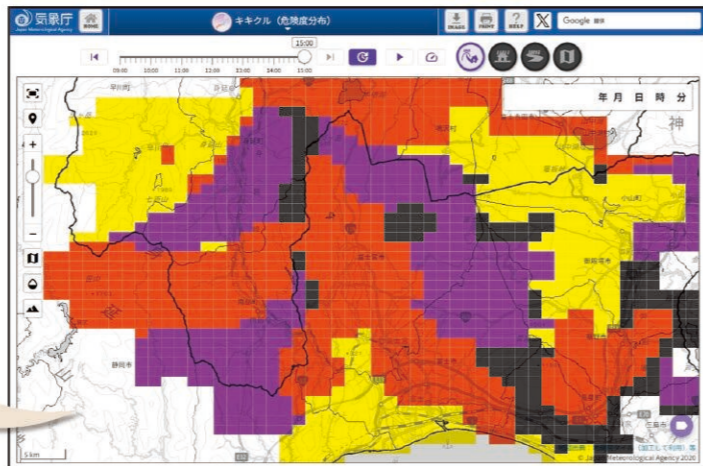


気象庁 キキクル

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>

キキクルで示される警戒情報

- : 災害切迫【警戒レベル5相当】
- : 危険【警戒レベル4相当】
- : 警戒【警戒レベル3相当】
- : 注意【警戒レベル2相当】
- : 今後の情報等に留意



※画像の災害状況は、表示例として作成されたものです

◆ 雨の降り方と強さ

(1時間雨量)	(10~20mm)	(20~30mm)	(30~50mm)	(50~80mm)	(80mm以上)
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	傘をさしていてもぬれる。		傘は全く役に立たなくなる。	
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声がよく聞き取れない。	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる。		道路が川のようになる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	
車の中		ワイパーを速くしても見づらい。	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。(ハイドロプレーニング現象)	車の運転は危険。	

◆ 豪雨災害における避難について

豪雨時の避難は、一律に市指定緊急避難場所に避難すれば良いというものではありません。

災害発生をイメージして、自分が避難すべき場所やタイミングをあらかじめ確認しておきましょう。

洪水

大雨による気象警報や河川水位の情報、市から発令される避難情報を収集

浸水前の早い段階で浸水区域外に避難することが最も安全

浸水区域 → **浸水区域外**

すぐに避難!

浸水区域外

- ◆ 知人・親戚宅等
- ◆ 指定緊急避難場所(開設されている場合)
- ◆ 近くの堅牢な建物

危険区域外への避難
水平避難

土砂災害

大雨による気象警報や土砂災害の危険度分布、雨の降り方などの情報を収集するとともに土砂災害の予兆現象に注意

雨風が強まる前の早い段階で土砂災害の警戒区域外に避難することが最も安全

土砂災害警戒区域外

- ◆ 親戚・知人宅等
- ◆ 指定緊急避難場所(開設されている場合)
- ◆ 近くの堅牢な建物

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

避難!

垂直避難
危険区域外への避難

情報収集により、早めに危険区域から出る事が大原則ですが、浸水が始まったり、雨風が強まったりした中、屋外に出ることは大変危険です

滞在可能(豪雨時退避場所)

避難!

避難必要

- ◆ 自宅の2階以上の部分
- ◆ 近くの堅牢な建物の2階以上

自宅の2階以上の部分

- ◆ 近くの堅牢な建物の2階以上
- ◆ 土砂災害が迫るがけや沢筋から離れた部屋